

燃える母校愛で
法政大学と法学部の
さらなる発展を！
第40号 2020(令和2)年6月30日

法政大学 法学部同窓会報

法政大学法学部同窓会
金子 征史 (同窓会会長)
佐藤 公平 (広報委員長)
〒104-0061
東京都中央区銀座7-15-5
共同ビル401号室
TEL 03(3543)1344
FAX 03(3546)2608
E-mail: t.saitoh@hosei-hogakubu-dosokai.jp

法学部創設百周年を迎えて

法学部同窓会会長 金子 征史

降って湧いたような新型コロナウイルス感染症の世界的広がりのなかで、あらゆる日常が激変してきている。大げさに言えば、人類の試練の時かもしれない。

今年、何事もなければ、わが法政大学法学部は、創設百周年を迎えることになる。法政大学および法学部では、すでに9月26日(土)に百周年行事を行うことが決定されており、法学部同窓会も側面から祝意を表す体制を執りつつある。しかし、これと確実に挙行されるかどうか、昨今(5月段階)の感染者数や感染による死者数の数が増大するなかでは、不透明の様相である。何とか人類の英知を結集して乗り越え、無事、百周年を迎えることができるよううただ、祈るばかりである。

さて、法学部創設百周年といえは、1880(明治13)年にわが国最初の私立法律学校として東京法政社がスタートした伝統から見れば、今年には140年目に当たるので、計算の誤りではないかと思われるかもしれない。しかし、東京法政社も、その系譜に繋がる東京法政学校も、東京法政学校も、和仏法律学校も、制度的には専門学校令等による学校にすぎなかった。正式に大学法学部を名乗ることができたのは、1918(大正7)年、政府による「大学令」が公布され、それに基づいて大学の認可をまたなければならなかった。法政大学は、翌1919(大正8)年10月7日、法政大学設置認可申請をし、1920(大正9)年4月15日に大学令による財団法人法政大学が認可された。これにより法学部は法律、政治学科が置かれた。

開設時の法学部教授は6名。従来の全教員講師制、つまり、専任教授は置かず、東京帝国大学教授の兼任講師、裁判所判事、検察官、弁護士といった法曹三者の兼務による講師が講義を担当するシステムを改め、専任教授を中心に置き、講師を配する形に改められた。そして、法政大学では、建学以来の「自由な学風」と「進取の気象」の精神を受け継ぎ、教授会が誕生し、科目編成や人事を教授会で決定する体制がとられた。「リベラル法政」の伝統は法学部創設以来から築き上げられてきたといえよう。初代学長(現在の法学部長に相当する)は、薬師寺志光教授。薬師寺教授は1915(大正4)年東京帝国大学独法科を卒業後、直ちに司法官試験になり東京地方裁判所に勤務。翌1916(大正5)年裁判所に在職のまま法政大学講師とな

り、法学部開設の1920(大正9)年に裁判所を退官して教授に就任した少壮の民法研究者であった。薬師寺教授は、1962(昭和37)年3月に定年退職したが、退職後も名誉教授となり、1962および1963年度「民法一部」の講義を担当し、その後は1969年度まで学部と大学院で演習を担当した。文字通り法政法学部一筋の名物教授である。奇しくも、私は1年生の時に80歳を迎えた薬師寺先生の法政での最後の講義を受講したが、水を打ったように静謐な大教室での淡々とした講義はいまだに忘れられない。古い先輩方で薬師寺先生を知らない人はいないであろう。ちなみに先生は法政を退職後、愛知大学教授、国学院大学教授に就任し、1980(昭和55)年3月(90歳)まで現役教授であった。

この百年の間、戦争を挟んだ時期には、竹内賢久治院長の下で法政大学が戦争に協力する体制をとったこともあるが、戦後、復員した学生たちによる学園内の戦争責任を追究する動きが起き、戦争協力体制の竹内院長を退陣に追い込み、法学部においては、薬師寺志光、佐瀬昌三の二人の教授以外全員を退陣に追い込んだ。民主化の動きの中で誕生した野上豊一郎総長は、法学部教授陣再建のため、東大法政部長の我妻栄に人選を依頼し、杉原隆一(政治学)が法学部長となり、建学以来培われてきた「自由と進歩」の精神に基づいて1947(昭和22)年3月に正式に法学部の設置が認可された。

1949(昭和24)年4月、戦前の大学令が廃止され、六・三・三・四制に基づく学校教育法上の「新制」法政大学が誕生。新制法学部では、旧来の予科制度が廃止され、1、2年生を所管する教養部と3、4年生を所管する専門学部が設置され、いわゆる縦割り方式の法学部となった。新制法学部では、第一法学部(昼間部)に、法律、政治、労働の三学科が置かれ、第二法学部(夜間部)には、法律、労働の二学科が置かれた。

「労働学科」の設置は、GHQ(占領軍総司令部)の示唆によるといわれるが、これを法学部で受け入れたのは、憲法(中村哲、横川英一)、民法(薬師寺志光、磯野誠一、田中吉備彦、内山尚三)、刑法(佐瀬昌三)、商法(児玉正勝)、

労働法、社会政策(舟橋尚道)、労働問題概論(飯田寛一)、アメリカ政治(日高定雄)、社会経済史(石母田正)、社会経済史(倉橋文雄)の13名しかスタッフがおらず、このなかには社会史や労働問題を扱っていた優秀なスタッフは何人かいたこと、当時の状況として、実用法学よりも労働問題を扱いたいとする社会科学的問題意識が学生間に広がっていたことなどが理由として考えられる。労働学科は、本来は、労働管理学的なものを求められていたようであるが、本学部教員の学問のあり

方からそのようなものにはならず、社会経済史、労働運動史などに傾斜し、「リベラル法政」らしく労働運動を啓蒙するようなものとなった。しかし、労働学科は、発足直後に始まるレッド・パージの風潮もあり、実際の入学希望者は少なく、就職に不利だということから、卒業証書の学科名を記さないことを望む者さえいた。これに加えて、1951年に本学に合併された中央労働学園大学をもとに、1952年から社会学部を開設することとなり、類似性の強い労働学科は1957(昭和32)年に最終的に廃止された。

戦後のわが法学部を語る時、通信教育部の誕生も欠かせない。1948(昭和22)年3月に戦後民主教育の礎ともいえる学校教育法が公布された。そこでは教育の機会均等を実施するために新しい学校教育として通信教育が規定された。それを機に、本学は法学部法律学科から通信教育が開講されたのである。初代通信教育部長は美濃部達吉、法学部門は、我妻栄、横田喜三郎、宮沢俊義の三人の東大教授を主軸に有泉亨が補助役として、1947年10月に学生募集が始まり、翌1948年春に、わが国最初の大学通信教育がスタートした。市民社会では大々による通信教育は歓迎され、とりわけ1950(昭和25)年3月学校教育法に基づく正規の大学



2020年度定期総会・懇親会延期のお知らせ

2020年(令和2年)度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、法政大学市ヶ谷キャンパスの施設利用が大幅に制限され、また、4月以降緊急事態宣言が発令されるに至り、感染防止のために国民の諸活動自粛が要請される状況に陥りました。

このような諸事情に鑑み、新型コロナウイルスの感染防止を最優先することとし、本年6月に開催を予定しておりました定期総会・懇親会を本年秋まで延期することに致しました。

なお、本年度定期総会・懇親会の日程等につきましては、その詳細が決定次第、会員の皆様にご連絡申し上げます。

会員の皆様におかれましては、感染防止に万全のご注意を賜りたく、そして、新型コロナウイルス禍の収束後にはお元気に再会できますよう、くれぐれもお自愛下さいますようお願い申し上げます。



その後の法政大学の発展は、現在の多くの同窓会会員が経験してきた。同窓会では、会員諸氏の協力を仰ぎ、卒業生の学生時代の記憶を文集にまとめ、記録に残したいと考えている。いわば学生時代の目から見た百年史の一端が示されることを期待したい。

その後の法政大学の発展は、現在の多くの同窓会会員が経験してきた。同窓会では、会員諸氏の協力を仰ぎ、卒業生の学生時代の記憶を文集にまとめ、記録に残したいと考えている。いわば学生時代の目から見た百年史の一端が示されることを期待したい。

その後の法政大学の発展は、現在の多くの同窓会会員が経験してきた。同窓会では、会員諸氏の協力を仰ぎ、卒業生の学生時代の記憶を文集にまとめ、記録に残したいと考えている。いわば学生時代の目から見た百年史の一端が示されることを期待したい。

その後の法政大学の発展は、現在の多くの同窓会会員が経験してきた。同窓会では、会員諸氏の協力を仰ぎ、卒業生の学生時代の記憶を文集にまとめ、記録に残したいと考えている。いわば学生時代の目から見た百年史の一端が示されることを期待したい。

その後の法政大学の発展は、現在の多くの同窓会会員が経験してきた。同窓会では、会員諸氏の協力を仰ぎ、卒業生の学生時代の記憶を文集にまとめ、記録に残したいと考えている。いわば学生時代の目から見た百年史の一端が示されることを期待したい。

その後の法政大学の発展は、現在の多くの同窓会会員が経験してきた。同窓会では、会員諸氏の協力を仰ぎ、卒業生の学生時代の記憶を文集にまとめ、記録に残したいと考えている。いわば学生時代の目から見た百年史の一端が示されることを期待したい。

その後の法政大学の発展は、現在の多くの同窓会会員が経験してきた。同窓会では、会員諸氏の協力を仰ぎ、卒業生の学生時代の記憶を文集にまとめ、記録に残したいと考えている。いわば学生時代の目から見た百年史の一端が示されることを期待したい。

その後の法政大学の発展は、現在の多くの同窓会会員が経験してきた。同窓会では、会員諸氏の協力を仰ぎ、卒業生の学生時代の記憶を文集にまとめ、記録に残したいと考えている。いわば学生時代の目から見た百年史の一端が示されることを期待したい。

その後の法政大学の発展は、現在の多くの同窓会会員が経験してきた。同窓会では、会員諸氏の協力を仰ぎ、卒業生の学生時代の記憶を文集にまとめ、記録に残したいと考えている。いわば学生時代の目から見た百年史の一端が示されることを期待したい。

未来を切り拓く 学生を送り出すために

法学部長 中野 勝郎



2020年4月より学部長を務めることになり

ました中野勝郎と申します。同窓会の会員のみなさまには、お世話になることが多いと思います。どうぞよろしくお願いたします。

私は、アメリカ合衆国の建國期を研究対象とし、学部では、合衆国の

近年、多くの大学の法学部では、「史」でなく「論」と題された科目が増えています(「アメリカ政治論」のような)。これは、歴史の視点から考察する講義が減り、現代志向の授業が増えてきていることを意味します。わたしが学生たちに伝えたいのは、現在を生き、未来へ投企するため過去との対話が求めら

は、それを記念する催しを企画しております。會員のみならずには、ぜひ、来校していただき、法学部の発展を言祝いであげたいと思います。わたしたち教員は、来し方の百年を振り返り、それを未来に繋げ、かつ、未来を切り拓く学生を送り出すべく、学びの場を鍛え上げていく所存です。

教授会主任

着任のご挨拶

武生 昌士 教授



産法(特許法、著作権法、商標法など)です。人間の知的営為の成果として得られた、財産的な価値を有する形のないもの(財産的情報)について、民事法上の財産権を発生させて、権利者に当該情報を利用して一定期間独占させるための法制度が知的財産法ですが、その中でも特に、特許法における「先使用」(ある者の特許出願よりも前に、他の者が既に同様の発明を先

使用(実施)していた場合、特許を付与することはできないか、などの問題をめぐる歴史的・比較的研究を中心テーマとしています。

変困難な状況となってまいりましたが、学生に例年と遜色のない学びの機会を何とか提供すべく、教職員一丸となって事に当たっております。法学部創設100周年を迎えるこの年、同窓会の皆様とも連携・連帯をよりい

っそう深めることにより、この難局を乗り切ることも、次の100年に向けた新たな一歩を踏み出すことができると考えております。ご高配を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

グローバル化の流れの中で、海外に目を向ける学生は増えているものの、それでもやはり、国際法は、学生にとってなかなか身近には感じにくい分野であるようです。研究一色の大学院生活を終えて赴任した当初は、教育を担うことに戸惑いを覚えることもありましたが、社会を支える人材を法政大学法学部で育てるこの意義を先輩教員から教えていただき、試行錯誤しながらどうにか務めを果たしてきました。最近では、ゼミのOBOG会を開催して、それぞれに活躍する卒業生の話を直接聞くことができようになり、この仕事のやりがいを実感するとともに、責任の重さを一層痛感しています。

教授会副主任

法学部法律学科

田中佐代子 教授



4月より教授会副主任を務めております田中佐代子と申します。2013年に本学に着任して以来、法学部の自由な雰囲気の中で伸び伸びと仕事をさせていただいてきましたが、恩恵に浴するばかりでなく、今年度は学部のお役に立っているように努めたいと考えておりま

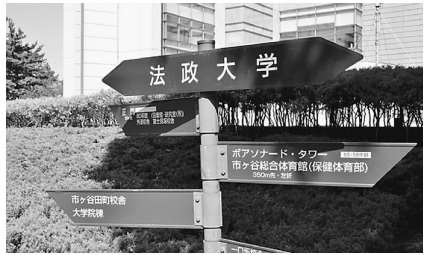
専門は国際法で、特に、武力行使に関わる法について研究してきました。国際社会の支柱をなす国際連合憲章は、第一次世界大戦の反省の上に起草されたもので、その時代背景から、国家による侵略行為の危険に対処することを重視していま

シア、イギリス・EU諸国も政治・経済・社会面で難問を抱えてきたところ、思いもかけず、新型コロナウイルスが世界に蔓延して大きな被害をもたらした。さらには米中間の対立まで煽ってききましたね。地球温暖化による地震・台風・大水害などの自然現象もまた

諸君がこの混沌迷の時代を生き抜くためには、まずもって、現実を客観的に知ることが大切です。日々、世界の潮流・社会の動き・自然現象の情報を広く収集し、深く分析し、遠く未来を予測して、自分の生きる道をつかんでください。自分は何をやりたいか、何が得意か、何をなすべきかをよく祈っています。

法学部 教員紹介

2020年度 教授会執行部



私の専攻分野は知的財産法です。同窓会の皆様にはこれまで、法学部同窓会寄付講座の担当教員として大変お世話になってまいりましたが、改めて何卒宜しくお願い申し上げます。

今年度は、新型コロナウイルスの影響により、対面の授業が実施できない中で新学期を迎えるという、大学にとっても大

現在、世界は経験したことのないウィルスの危機にさらされていますが、それでも、人間は、重ねられてきた知見や経験なしに事態に備えることができません。過去との対話は、なお、道標の一つでありつづけていると思います。さて、本年、わたしたちは、法学部創設百周年を迎えます。九月に

持しつつ、新たな脅威に立ち向かう国家の要請にも配慮した国際法のあり方を考えなければなりません。

今では2050年。シンギュラリティ(技術的特異点)が来る」と提唱する。今、君たちはその

の先生方も、表現こそ違え「自分で考え、自分の答えを見つけよう」我が法政大学法学部の伝統を君たちに熱意を持って伝えるべきだ。その技を活かすも殺すも君たち次第だ。さあ、シンギュラリティが仮に訪れているとしても、君たちは、AIにはできない、人間ならではの仕事を自指してほしい。さらに「次の30年」への飛翔を祈る。



法学部同窓会では、毎年、法学部と共催で、卒業される後輩に「法学部卒業生に贈る」という冊子を作製しお渡ししております。今年度は、卒業式は中止となりましたが、冊子を作製し卒業生に配布させていただきました。その冊子から次をご紹介します。

法学部卒業生へ―― 30年後の君たちへ

法学部長・教授 和田 幹彦

今では2050年。シンギュラリティ(技術的特異点)が来る」と提唱する。今、君たちはその多忙だったから、君たちは多くと出会えなかったのは残念だ。しかし、多くの専門の法律学でも、政治学、国際政治学などへ

混沌迷の時代を生き抜くために

名誉教授 下森 定

混沌迷の時代を生き抜くためには、まずもって、現実を客観的に知ることが大切です。日々、世界の潮流・社会の動き・自然現象の情報を広く収集し、深く分析し、遠く未来を予測して、自分の生きる道をつかんでください。自分は何をやりたいか、何が得意か、何をなすべきかをよく祈っています。

“コロナ禍”と向き合う

同窓会理事 高橋 彰(元・厚生労働省職員)

Covid-19 急性呼吸器疾患(新型コロナウイルス)が世界中を席巻し、各国で渡航禁止や都市封鎖(ロックダウン)が実施されている。筆者は厚生労働省官僚として、2009年の新型(豚)インフルエンザの封じ込めや、2011年の東日本大震災対策本部など、危機管理業務に従事した経験を持つ。福島第一原子力発電所の事故後対応などにも参加したが、これらの経験から言えることは、「目に映らないものは、目に映らないもの」との戦いは非常に難しいということだ。高まった不安は目の前のウイルスの恐怖を引き立てるが、実際にはウイルス以上の脅威があることも忘れてはならない。

ウィルス以上の脅威として、一つは長引くという事そのものが挙げられる。多くの人が誤解しているのは、緊急事態宣言によって、二定期間我慢すればウィルスがいなくなる、だからそれまでの辛抱だ」というもの

だ。実際には、物理的距離を要する方には注意。その両方がある方は特に感染しやすいように気を付けていた。8割の方が軽症とされるが、これらの方は残りの2割のハイリスク群であり、十分な感染防止が必要だ。他人に近づかない、厚生労働省の言う「3密を避ける、外出後は必ず手洗いが行う、など。家庭内にロリスクの方が同居している場合、彼らにこれらの措置を徹底してもらおう必要がある。一方、高齢でなく、基礎疾患もない方は必要以上に不安がる必要はないが、感染拡大に手を貸さないよう、地道に他者との接触を避けなければならぬ。また、デマに踊らされたり、安易にSNSの情報やSNSの情報をシェアしたりしないことも重要な(判断がつかない方には「全てシェアしない」ことをお勧めする)。膨らんでしまった雰囲気は社会を分断し、破壊しかねない。今後必要なのは、政府・国民が丸ごと経済を立て直し、安全で快適な生活を取り戻すことだ。SNSの情報の多くは、これとは正反対の雰囲気を作り出してしまう。最後に、ウィルスとは関係なく、交通事故に遭



生産的だ。まず、自分にとって正しく脅威を捉えること。年齢が高い方や、基礎疾患(心疾患や糖尿病、呼吸器疾患など)があ

2019年度卒業生の進路状況について

法政大学キャリアセンター小金井

事務課長 今村 公勇



2019年度卒業生の民間企業や団体への就職希望者内定保有率は、98・4%(4月1日現在の速報値)と昨年同じく良好な結果となりました。金融業界などで採用数を絞る動きもありましたが、全体としては、幅広い業界、職種において積極的な採用活動が継続された結果だと思われま

【業界別就職状況】
法学部生の進路を業界別にみると、①公務14・8%、②情報・通信14・3%、③サービス13・5%、④金融・保険12・9%、⑤卸・小売12・5%、⑥運輸・不動産・公益10・5%、⑦製造9・7%となっています。

【主な就職先】
法学部生の主な就職先としては、東京都庁、横浜市役所、川崎市役所、法務省、東京国税局、三井住友海上火災保険、りそなグループ、日本航空などが挙げられます。

【現在の就職支援状況】
現在の4年生に対しては、昨年の3年生の春季期以降様々なプログラムを実施するほか、企業の採用選考の早期化に対応するために、毎年3月に実施していった学内の企業説明会を今年2月に前倒しで実施致しました。

就職活動に対して学生が不安を募らせることのないよう、感染症対策を講じて窓口での個別相談を継続しましたが、4月7日に政府より緊急事態宣言が発出されたことを受けて、職員は原則自宅勤務となりました。対応面による個別の相談の対応ができなくなりました。4月17日からはメールによる相談の受付を開始し、多くの学生から寄せられる相談に対応しています。

箱根駅伝 予想を超える高速レース

阿部 豊

同窓生の皆様、今日は。昭和57年卒業の阿部豊と申します。今年も校旗の小旗を持って、権太坂最高点で母校の選手の手援を行いました。

令和初となる今年の箱根駅伝は、予想を上回る高速レースとなりました。母校法政は流れて行けず苦ししいレース展開に終始



鶴見でのたすきリレーは19位。2区を走る鎌田選手は、しんがり権太坂最高点にやってきました。往路は4区の河田選手、5区の青木選手が何とか順位を上げて、16位。復路も中々波に乗りきれず、戸塚中継所では17位でたすきリレー。権太坂最高点で待っ

家選手は日大と神奈川を抜き、順位を15位に上げました。アンカーの増田選手はそのまま15位でフィニッシュ。シード権維持はなりませんでしたが、残念な結果ではあります。残念な結果ではありますが、懸命にたすきを走つた選手達に敬意を表したいと思います。

また予選会から勝ち上がった、来年も箱根路を走って貰いたいと思います。写真は権太坂最高点を走る2区の鎌田選手の力走です。

法政大学法学部同窓会理事
小野瀬 敬二
〒232-0184 神奈川県相模原市緑区小淵1814-17
電話・FAX 042-686-17045
昭和三十五年三月卒業
法政大学法学部同窓会

理事 小野 昭
〒336-0832 さいたま市緑区中尾2117-12
電話・FAX 048-749-1816
昭和39年法学部卒
法学部同窓会理事・総務委員

前本 正彦
〒165-0036 東京都中野区新井1-16-1
電話 03-3387-6949
昭和四十一年三月卒業
法政大学法学部同窓会会長
法政大学士業の会会長

法政大学 金子 征史
名誉教授
昭和四十二年三月卒業
法政大学法学部同窓会理事
弁護士 鈴木 武志
鈴木武志法律事務所
〒105-0003 東京都港区西新橋一丁目二番三三号
TEL 03-5561-5000 FAX 03-5561-5001
(昭和四十二年三月卒業)

市川 喜通
日本不動産研究所グランドフェロー
不動産鑑定士
〒063-0865 札幌市西区八軒五条東四丁目五の三五の八〇八
電話 011-709-0670
昭和四十四年三月卒業 須永ゼミOB
下西技研工業株式会社

取締役 下西 孝
〒578-0861 大阪府東大阪市島之内2-14-16
TEL 072-1966-6131 FAX 072-1966-6133
URL: www.simoec.co.jp
*昭和44年法学部卒
法政大学法学部同窓会

理事 柳田 正義
東京都港区芝大門二丁目五番一号
弁護士法人 下山法律事務所
電話 03(3433)2338
昭和45年3月法学部法律学科卒
法政大学評議員
法政大学校友会監事

弁護士 山崎 正俊
〒101-0047 東京都千代田区内神田一丁目八番九号
電話 03(3233)3501
昭和45年3月卒 福田ビル五階

短

信

「満開の桜に雪」に母校を思う

平成3年度 法律学 科卒 熊谷 太郎

世の中が新型コロナウイルス騒ぎで騒然としている中、「32年前にも東京で満開の桜に積もる雪」とネッ



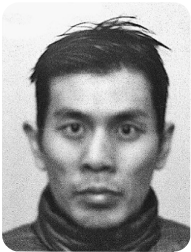
トニュースに流れていたのを見て、外濠公園の満開の桜の下、地面に雪が厚く積もり、実家のある気仙沼より雪が多いなと思った年を思い出した。あれは1988年、大学に入學したのは32年前も前なのか、時の流れの速さにびっくりしていた。時代はバブル真っ只中、日本がまだ元気で東京が眩しく見えていた。正直、東京に行ければそれで良かった。昭和63年4月、法政大学法学部法律学科に合格した。なぜ法政大学を選んだのか？

新会員 紹介

フェザー級

ボクサーです

大場 綜



昨年(平成31/令和元・2019年)より法政

大学法学部同窓会に入会させて頂きました大場綜と申します。平成の怪物・松坂大輔投手に代表される学年、本年夏で40歳の誕生日を迎える比較的若輩者ではないでしょうか。日教組の牙城の北海道・小樽で生まれ育ち幼い頃から同組織内候補・横路孝弘弁護士を反面教師に祖国日本を愛し、ヤマト民族の誇りを重んじ御皇室敬愛。幼稚園の先輩・石原慎太郎以上にタカ派・右寄りの思想を持っていました。越境受験で(前述の横路弁護士の母校)都立九

理事会だより

事務局長 齊藤 友嘉

○2019年12月の理事候補者(任期は選任か)で、各学部同窓会の定期総会の際の懇親会を合同で実施することの可否について協議しました。これは、各学部同窓会協議会の理事会の席上において、経営学部同窓会の岩井昭会長から提案があったことによるものです。協議したところ、賛否両論があり、メリット・デメリットの指摘も出され、少なくとも2020年度に合同の懇親会を開催することは時期尚早との結論に至りました。

ただし、この件は、懇親会を合同で開催することのメリットを十分に生かすことが出来るならば有用なアイデアであることと鑑み、将来の課題として検討することになりました。○法政大学校友会の第2期代表議員選挙が2020年1月4日(土)から1月10日(金)まで投票期間として実施され、法学部同窓会を出身母体とする代表議員として、齊藤友嘉・岸岡正比古両氏が当選しました(任期は2020年4月1日から4年間)。また、2020年2月の理事会において、法政大学校友会の第4期理

納入のお願い

長子 室孝 大塚 孝子 財務 大塚

に郵送によって卒業生に配布して貰うことが出来ました。○2020年は、法政大学法学部創立100周年にあたり、この機会に、法学部同窓会としてどのような取り組みが可能か検討中とのこと、2020年度予算に、100周年記念事業関連の予算として20万円を計上する見込みです。この費用を活用し、法学部同窓会の全会員から、集まった原稿を小冊子にまとめて刊行することを考えています。

この他に昨年度は、会費払込票を2回お送りしたところ、会費を二重払いしていたいた会員が九十七名いらっしゃり、380,000円が納入されています。これらの会員の皆様には、翌年度の会費に充当する旨の手紙をお送りしました。会報に掲載される名刺広告が1コマ1万円、2回の発行でしたので、31コマ、31万円の収入がありました。

昨年度は、会員の皆様へお送りしたところ、七十九名の方より、1,072,000円の寄付を頂戴しました。本当にありがとうございます。皆様のご健康を祈念申し上げます。

同窓会では、本年度も4回目となりますが、法学部学生に対し、寄付講座を開講する予定です。その他にもホームページの運営や法学部学生との交流会、卒業生祝賀会

法政大学法学部同窓会・副会長

広報委員長 佐藤 公平

〒301-0611 埼玉県熊谷市古吉572-103 E-mail: satoru-hosei@com.zaq.ne.jp

昭和四十七年三月卒業 法学部同窓会財務室長

弁護士 大塚 孝子

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-15 市ヶ谷法曹ビル809 大塚孝子法律事務所 電話 03-3262-7141 (昭和50年3月卒業)

法政大学法曹会副会長 法政士業の会理事

弁護士 山崎 雅彦

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋二一六六九 トリアビル二〇三号 山崎雅彦法律事務所 電話 〇三(三三二二)六三三二 昭和50年3月卒業

法政大学法学部同窓会 事務局長

弁護士 齊藤 友嘉

〒104-0061 東京都中央区銀座7-15-15 共同ビル401号室 齊藤法律事務所 電話 03(35543) 1341 FAX 03(35543) 1343 昭和52年3月法学部法律学科卒業

法政大学法学部同窓会理事 法政大学法曹会理事

弁護士 佐々川 直幸

〒104-0061 東京都中央区銀座一丁目十五番十三号 クレジデンス銀座タワー10階 佐々川法律事務所 電話 03(5524) 7200 FAX 03(6744) 7000 昭和五十九年三月 法学部法律学科卒業

桜上水法律事務所

弁護士 小泉 英之

〒108-0003 東京都杉並区下高井戸三十一-1 電話 〇三(三三三三)七七一〇 二〇一〇年三月卒業

の開催などを企画していただき、ありがとうございました。氏は会報28号一面で「ザ安定的な確保が必要で」の起業者、好きなことなら頑張れる」の記事で掲載されており、現在も理事をお勤めいただいています。どうかよろしくお願

いします。 昨年度に引き続き、会費のほか、寄付もお願いできればと思っております。どうかよろしくお願

編集後記

ご多用のところ原稿を執筆いただきました皆様、誠にありがとうございました。皆様からの原稿のご投稿を、今号の4面にお書き